

令和7年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

1. 法人運営事業 【サービス区分：法人運営事業】

事務、事業の適正化を目的に、財務についての検討及び事業評価を行い、安定的な事業推進を図りました。

●経営基盤強化

- ・各地区社会福祉協議会総会や日本赤十字社富士宮地区・富士宮市社会福祉協議会合同大会において協力依頼を行いました。
- ・資金収支計算書を職員に渡し、予算意識の向上に努めました。
- ・経営会議を開催し、支出の縮小に努めました。

●人材育成への取り組み

- ・内部研修 令和7年7月17日(木)：職員ハラスメント研修 講師:山本 竜隆 氏
- ・新入職員研修 令和7年4月1日～3日、7月1日、11月7日
- ・テーマ別外部研修への積極的な参加

●組織体制の強化・理事会、評議員会

- ・理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和7年 5月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度富士宮市社会福祉協議会事業報告の承認について ○令和6年度富士宮市社会福祉協議会会計決算の承認について ○富士宮市社会福祉協議会評議員の推薦について ○富士宮市社会福祉協議会理事の候補について ○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会長表彰について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和7年 6月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○富士宮市社会福祉協議会会長・副会長・常務理事の選任について ○富士宮市社会福祉協議会顧問の選任について ○富士宮市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
令和7年 8月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ○富士宮市社会福祉協議会評議員の推薦について ○富士宮市社会福祉協議会理事の候補について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和7年 9月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○富士宮市社会福祉協議会副会長の選任について ○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第1号)(案)の承認について ○富士宮市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和8年 2月4日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第2号)(案)の承認について ○富士宮市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会表彰規程の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

令和8年 3月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ○富士宮市社会福祉協議会定款の一部改正について ○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第3号)(案)の承認について ○令和8年度富士宮市社会福祉協議会事業計画について ○令和8年度富士宮市社会福祉協議会会計予算(案)の同意について ○富士宮市社会福祉協議会評議員の推薦について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
・評議員会の開催	
開催日	主な審議内容
令和7年 6月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度富士宮市社会福祉協議会事業報告の承認について ○令和6年度富士宮市社会福祉協議会会計決算の承認について ○富士宮市社会福祉協議会理事及び監事の選任について
令和7年 8月28日(木)	○富士宮市社会福祉協議会理事の選任について
令和7年 9月25日(木)	○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第1号)(案)の承認について
令和8年 2月12日(木)	○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第2号)(案)の承認について
令和8年 3月25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○富士宮市社会福祉協議会定款の一部改正について ○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第3号)(案)の承認について ○令和8年度富士宮市社会福祉協議会事業計画について ○令和8年度富士宮市社会福祉協議会会計予算(案)の承認について
・評議員選任・解任委員会の開催	
開催日	主な審議内容
令和7年5月23日(金)	評議員の選任について
令和7年9月2日(火)	評議員の選任について
令和8年3月25日(水)	評議員の選任について
・監事監査(会計と業務の執行状況)を実施しました。(令和7年5月2日(金))	
●行政とのパートナーシップの構築	
・各事業において、市の担当課と連携し事業推進に努めました。	

2. 企画広報事業 【サービス区分：企画広報事業】

<p>●社協広報紙「明るいまち」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(5月・8月・11月・2月)を回覧及び市内関係機関への配布を行いました。 ・2月号から、読者アンケートをはじめ、ニーズの把握に努めました。 ・ホームページやインスタグラムを通し、広報紙の情報を公開しました。 <p>●ホームページの管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスしやすいホームページ作りと、各事業の情報が常に更新されるよう管理しました。 <p>●日本赤十字社富士宮市地区・富士宮市社会福祉協議会合同大会の開催</p> <p>開催日：令和7年6月28日(土) 9:30~12:00</p> <p>会場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール</p> <p>内容：(1)表彰状・感謝状の贈呈</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)日本赤十字社・富士宮市社会福祉協議会の事業説明</p> <p style="padding-left: 20px;">(3)記念講演「静岡の天気まるわかり」</p> <p style="padding-left: 40px;">講師：気象予報士 松浦 悠真 氏</p>

●表彰状・感謝状の贈呈

- ・表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰状・感謝状の贈呈を行いました。また、静岡県社会福祉協議会会長表彰をはじめ知事表彰、厚生労働大臣表彰等の推薦を行いました。
- ・富士宮市社会福祉協議会会長表彰 24名（団体）
- ・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状 25名（団体）
- ・静岡県共同募金会会長感謝状 3名（団体）

3. 地域福祉推進事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

「富士宮市地域福祉推進計画」（第4期地域福祉計画・第4期地域福祉活動計画）に基づき、地域の方々と一体となり、第4期地域福祉活動計画取り組み状況の確認と見直しを図り、第5期計画策定とともに、各地区の事業推進に努めました。

●第5期地域福祉活動計画策定

- ・土屋幸己アドバイザーによる、全職員対象地域福祉活動計画勉強会の実施（34名参加）
- ・策定チーム（各係2名）を発足し、月1回の策定チーム会議を行い、社協内全体で計画策定に取り組みました。
- ・アンケートの実施

対象	事業名	人数
事業利用者	生活困窮者自立支援事業	10名
	結婚相談事業	10名
	日常生活自立支援事業	22名
	指定相談事業	7名
	地域活動支援センター事業	29名
	居宅介護支援事業	13名
	訪問介護事業	15名
スタッフ	地区社協事業・生活支援体制整備事業	47名
	地域寄り合い処事業	122名
	子育てサロン事業	13名
高校生	ボランティア活動事業	36名
総合福祉会館利用者	総合福祉会館管理・経営事業	428名

- ・考察と計画への反映
アンケート結果から、以下のとおり課題を整理し、多角的な視点で事業を推進していくこととしました。
 - ①事業の取組みで対応できること
 - ②社会福祉協議会で実施する他事業との協働が解決の糸口となること
 - ③課題解決のために地域と連携をめざすこと

●上半期会議・住民懇談会の実施

第4期計画を精査し、各地区社協実施事業の、開催目的や視点を再確認しました。

事業計画に基づき無理なく取り組める5か年計画の策定に努めました。

下半期会議は、各地区社協での会議の場を通じ、第5期計画策定に向け協議を進める形としました。

地区	日付	地区	日付	地区	日付
大宮地区	7月31日	富丘地区	7月26日	白糸地区	8月21日
大宮東地区	9月2日	大富士地区	8月3日	猪之頭地区	9月26日
大宮西地区	8月26日	上野地区	7月31日	芝川地区	8月8日
富士根南地区	9月18日	北山・山宮地区	8月22日	柚野地区	8月21日
富士根北地区	7月24日	上井出地区	7月23日		

●地域福祉活動計画策定・推進委員会の開催

- ・第5期地域福祉活動計画策定・推進委員会を開催し、委員への理解促進に努めました。

【第1回】 地域福祉活動計画策定・推進委員会

開催日：令和7年10月10日（金）9:30～11:00

参加者：地域福祉活動計画策定・推進委員5名、社協10名

内 容：委員委嘱、14地区社協の上半期進捗報告、第5期富士宮市地域福祉活動計画（素案）

【第2回】 富士宮市地域福祉計画策定専門委員会、地域福祉活動計画策定・推進委員会合同会議

開催日：令和7年10月28日（火）19:30～

参加者：地域福祉活動計画策定・推進委員5名、地域福祉推進計画策定・専門委員7名
福祉社企画課3名、社協2名

内 容：令和7年度地域福祉活動計画上半期まとめ、第4期地域福祉活動計画進捗・評価
第5期地域福祉活動計画（案）

【第3回】 地域福祉活動計画策定・推進委員会

開催日：令和8年3月11日（水）13:30～14:15

参加者：地域福祉活動計画策定・推進委員6名、福祉企画課2名、社協7名

内 容：第5期富士宮市地域福祉活動計画（案）

4. 地区社協活動事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

各地区社会福祉協議会が掲げた事業計画が円滑に進められるよう、役員からの相談対応や情報提供、各関係団体と連携しながら安定した運営と継続した取り組みができるよう支援しました。

●地域福祉活動計画に沿った地区社協事業の推進

- ・14地区社協ごとに第4期計画の振り返り及び第5期計画策定のための懇談会を開催（7～9月）
- ・懇談会での意見から、各地区社協事業計画と連動する形の地区社協版地域福祉活動計画を策定しました。

●地区社協連絡会の充実

各地区社会福祉協議会との情報共有等を通じて、地域福祉活動に対する理解を深める機会としました。

【第1回】 課題（担い手不足）が共通する地域寄り合い処事業、生活支援体制整備事業とのコラボ企画

開催日：令和7年8月24日（日）13:30～15:30

会 場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

参加者：地区社協関係者（会長、企画委員長、推進委員等）、寄り合い処代表者・スタッフ、
生活支援体制整備事業第2層協議体委員、その他一般市民 合計 122名

内 容：講話「気楽につながる、楽しく続ける、その極意とは？」

講師：武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 渡辺裕一氏

グループワーク「活動の悩み」「今日話を聞いて、やってみようと思ったこと」

【第2回】

開催日：令和8年1月30日（金）13:30～15:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

参加者：市内14地区社協会長、支部長、企画（推進）委員長等役員 合計35名

内 容：新補助金要綱に関する説明

地区社協の役割について再確認。新補助金要綱様式、地区社協の手引きについて説明

●地区社協補助金交付要綱の整備

令和8年度から適用開始に向けて、地区社協補助金交付要綱の整備を行いました。

- ・要綱の整備に向けた検討（月1～4回）を実施、各地区社協総会で現況説明を行いました。
- ・補助金要綱案説明会

開催日：令和7年11月20日（木）10:00～ 会場：富丘交流センター

参加者：地区社協会長等役員 参加者：31名

経緯経過や改正案を示した上で意見を伺い、確認した課題を基に、「要綱整備」「地区社協の役割の再確認」「地区社協のてびき作成」について検討しました。

- ・第2回地区社協連絡会での説明

変更点：一括補助方式から実施事業に即した申請方式への変更

基礎補助額を世帯数に応じた事務費事業費補助への変更

5. 生活支援体制整備事業(第2層協議体推進業務) 【サービス区分：地域福祉推進事業】

高齢者の生活支援・介護予防サービス体制の整備、介護予防を切り口とした支えあいの仕組みづくりを推進するため、地域における生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネート業務に努めました。

●第2層協議体の運営

- ・市内7圏域で組織された第2層協議体において、高齢者が抱える生活課題の解決に向け、地域の良さを活かした仕組みづくりについて協議を行いました。

地区	協議体	部会	事前打合せ	テーマ
白糸・上井出	4		4	筋力アップにつながる取り組み
上野・北山	6		6	ごみ出しニーズの調査
根南・根北	5	10	30	社会福祉法人による居場所への送迎 買い物ニーズの把握
富丘	9			自治会圏域での研修
大富士	3		4	地域活動者のネットワーク化
大宮中・大宮東	4	1		まちなかにおける休憩スペースの創出
大宮西	3		6	社会福祉法人による居場所への送迎 地区社協との連携
芝川	6		6	社会福祉法人による居場所への送迎 地域資源、個別課題の見える化

※富丘・大富士手をつなぎ隊については、令和7年度よりそれぞれの圏域ごとで協議。生活課題の把握、ネットワーク化を図りました。

- ・ワークショップ、座談会の開催

協議体での協議を踏まえ、必要性、目的に応じて開催しました。

白糸・上井出地区ワークショップ「けっこいじくらぶ」

開催日：令和7年12月14日（日）10:00～ 会場：白糸会館 参加者：39名

テーマ：地域の健康事情、ながら体操の普及

大宮西地区高齢者対策委員会ワークショップ

開催日：令和7年6月20日（金）13:30～ 会場：西公民館 参加者：17名

テーマ：寄り合い処会場への移動について

大富士地区協議体ワークショップ「横につながる おしゃべり会」

開催日：令和7年11月6日（木）13:30～ 会場：大富士交流センター 参加者：31名

テーマ：地域内活動者のネットワーク作り

芝川地区ワークショップ

開催日：令和7年8月21日（木）13:30～ 会場：百恵の郷 参加者：19名

テーマ：寄り合い処への送迎について

- ・第2層協議体委員長・副委員長会議の開催

地域福祉団体との情報交換、グループワークを通し、より幅広いネットワークの構築を図ると共に地域状況、法制度について見識を深めました。

開催日	内 容
令和7年8月24日(日)	地区社協事業・寄り合い処事業との合同企画 「気楽につながる楽しくつながるその極意とは」 講師：武蔵野大学 人間科学部 教授 渡辺 裕一 氏
令和8年2月18日(水)	「生活支援体制整備事業の推移と他市町の動向について」 講師：静岡県社会福祉協議会福祉企画部 杉 亜佑美 氏

・新任委員研修の開催
新任委員を対象に、事業理解を深めると共に、委員が担う役割を認識していただくため開催しました。
開催日：令和7年6月20日(金) 参加者：9名
令和8年1月28日(水) 参加者：7名
会 場：富士宮市総合福祉会館 第1会議室
内 容：「生活支援体制整備事業の概要」
講師：一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 氏

・第2層協議体報告会の開催
市内7協議体で検討協議、実施してきた事例について報告を行うと共に協議体委員間の情報共有の機会として開催しました。
開催日：令和8年3月8日(日) 会場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール
参加者：第1層、第2層協議体委員、地区社会福祉協議会会長、推進(企画)委員長など(約120名)
内 容：講演「“ほっとけない”が地域を変える～他市町の取り組みから協議体の役割を考える～」
講師：駒澤大学 社会学部 教授 川上 富雄氏
トークセッション：「いつまでも仲間が集う行事に参加する」～地域・事業所と一緒に移動をサポート～
実践報告：担当SCより各地区協議体の活動報告

●情報誌の発行
・地域資源情報誌について、アンケート調査実施。調査結果を踏まえ、従来の7圏域での発行から14圏域での情報誌に変更しました。

●明確化したニーズに対しての地域活動者の育成
・1層協議体に移動手段について提言。移動支援講座を開催、新たな人材の発掘養成を行いました。
移動支援講座
開催日：令和8年1月27日(火) 会場：富士宮市総合福祉会館 第1会議室 参加者：28名
内 容：「地域で支え合う移動・外出支援について 全国の事例、制度と市民参加」
講師：NPO 法人全国移動支援ネットワーク 理事 石山 典代 氏

6. 地域寄り合い処事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

<p>●寄り合い処運営支援(開所数：112カ所) 開催場所や時間などを含め、安定した運営や継続・発展に向けた取り組みが行えるように、相談対応や情報提供及び運営されている地域の自治会などとの環境・関係調整を行いました。 備品貸与219件(運動系185件、かるた等34件)</p> <p>●スタッフ研修会の開催 第1回目：令和7年8月24日(日) 13:30～15:30 会 場 富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール 講 演 「気軽につながる、楽しくつづける、その極意とは？」 講師：武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 渡辺 裕一 氏 参加者 寄り合い処62カ所・109名 第2回目：①大富士・富丘・富士根北・富士根南</p>

開催日：令和8年1月20日（火）13:30～15:00 会場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室
②猪之頭・上井出・白糸・上野・北山・山宮

開催日：令和8年1月21日（水）10:00～11:30 会場 白糸会館 第1・第2集会室
③大宮・大宮西・大宮東

開催日：令和8年1月27日（火）10:00～11:30 会場：富士宮市駅前交流センターきらら 集会室
④芝川・柚野・稲子

開催日：令和8年1月29日（木）13:30～15:00 会場：芝川公民館 第1・第2・第3会議室
内 容：第1回地域寄り合い処スタッフ研修会アンケートを基にグループワーク及び情報交換

●開設支援

新規開所 2件 (三園平区、村山2区)

開設相談 2件(継続中)(宮原区、猫沢区) 趣旨、目的、役割、運営・活動方法について説明
自治会への理解促進、寄り合い処見学への同行

●その他

・広報活動

社協公式 Instagram にて情報を掲載

掲載日：9月3日（水）・10月23日（木）・11月1日(土)・11月20日(木)・12月12日(金)
令和8年2月19日（木）

岳南朝日新聞やラジオエフ等を通じて、行事等の取材依頼。

・研修への対応

現場視察研修会 I N富士宮（さわやか福祉財団主催） 20名

開催日：令和8年3月2日月 13:30～15:30

会 場：後富山 称名院 平等寺（富士宮市東町4-24）

内 容：「地域寄り合い処について」 講師：地域ささえあい係
説明後、情報交換会を実施

参加者：県内生活支援コーディネーター他

7. 地域子育てサロン事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

●子育てサロンの推進・運営支援(サロン数：20カ所)

- ・自治会や民生委員児童委員協議会会合等において、子育てサロンへの理解と子育て応援を求めました。
- ・地域子育てサロンアドバイザー8名を委嘱し、子育てサロンやキラキラサロンにおける子育て相談や見守り等を行いました。サロン訪問：108回

●地域子育てサロン紹介展示会及び、周知について

目 的：子育てサロンフェスティバルに代わり、子育て中の親子をはじめ幅広く地域の皆様に、子育てサロンについて知っていただき、気軽に参加していただくための展示会及び、周知を開催。

協 力：富士宮市健康増進課保健師

・パネル展示会

開催日：令和7年4月21日(月)～4月25日(金)(休館日及び、祝日を除く)

令和7年12月12日(金)～12月18日(木)(休館日及び、祝日を除く)

会 場：市役所1階市民ホール

・6か月児健康相談時個別周知(8月より)9時15分～10時30分

8月8日（金）、8月27日（水）、9月12日（金）、10月3日（金）、10月22日（水）

11月12日（水）、12月12日（金）、12月24日（水）、1月16日（金）、2月6日（金）

2月18日(水)、3月13日(金) 健診親子：270組

●情報共有の会議の開催

- ・子育て支援連絡会(年2回)

第1回：令和7年5月28日（水）9:30～11:00

第2回：令和8年2月27日（金）9:30～11:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・第2会議室

参加者：子育てサロン代表者、主任児童委員、子育てサロンアドバイザー、市立保育園担当保育士
富士宮市こども未来課、富士宮市健康増進課、富士宮市社会福祉協議会

内 容：行政関係者とサロン代表者その他関係機関の情報交換・情報提供・子育てに関する制度や動向
に対する現状把握、市立保育園との情報交換

・地域子育てサロンアドバイザー連絡会の開催(年2回)

第1回：令和7年4月18日(金)10:00～11:00

第2回：令和8年1月23日(金)10:00～11:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 ミーティングルーム

参加者：子育てサロンアドバイザー、富士宮市こども未来課、子育てコンシェルジュ、
富士宮市社会福祉協議会

内 容：各サロンに出向いた中での気づきや、個別ケースの情報共有、サロン運営における方向性の確
認をおこなう。(令和7年度末で地域子育てサロンアドバイザー制度廃止。)

・市立保育園と地域子育てサロンの情報交換会

開催日：令和7年5月28日(水)10:15～11:00(子育て支援連絡会後半)

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・第2会議室

参加者：市立保育園14カ所担当者・地域子育てサロン代表者及びスタッフ、地域子育てサロンアドバ
イザー・富士宮市子ども未来課子育てコンシェルジュ、富士宮市健康増進課

内 容：新年度担当の顔合わせ及び子育てサロンへの訪問日程の調整

●キラキラサロンの実施

開催日：毎月第2水曜日 9:30～11:30

4月9日、5月21日、6月11日、7月9日、8月6日、9月10日、

10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、2月4日、3月11日

会 場：富士宮市総合福祉会館 和室

対象者：子育てに不安を抱える親子・他県からの転入などで知り合いがいない親等

目 的：富士宮市健康増進課における乳幼児全戸訪問事業にて、気がかりな親子に対して気軽に参加で
きるよう後押しし、親子のふれあい遊びやアドバイザーによる絵本の読み聞かせ、手遊び等
を行うことで、育児に対する不安の解消を図る。

参加者：延べ30名(親19名、子11名)

※令和7年度をもって閉所。

8. 福祉教育事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

●福祉教育推進連絡会の開催

開催日：令和7年5月29日(木)15:00～16:20

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

内 容：(1)福祉教育と富士宮市社会福祉協議会

(2)「学校における福祉教育」 富士宮市教育委員会 学校教育課 眞野 元気 氏

(3)「東小学校福祉教育実践」 富士宮市立東小学校 教諭 佐野 公美 氏

子育てサロンがくろくどう 代表 岩田 照賢 氏

(4)講評 富士宮市社会福祉協議会福祉教育アドバイザー 若林 直己 氏

参加者：小学校18校 中学校12校 合計30校(前年比+2)

- ・地域活動者に登壇していただき、福祉とは身近な人の幸せを考えることであること、また地域の福祉活動
に関心を向け、さまざまな人との出会いを通して福祉を学べることを伝えられました。

●地域の福祉ニーズに即した福祉教育の展開

- ・学校における福祉教育プログラムの支援

地域福祉活動者による講話の実施や、地域福祉活動への参加・交流の機会を設け、地域福祉活動を知り、
関心を高めてもらうためのプログラムを実施しました。また、単発の関わりで終わることのないよう、継
続して関わる仕組みづくりにも取り組みました。

実績：9校（前年比 小学校-3校、中学校-2校、高校+1校）

対応件数：43件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2	2	1	4	5	9	11	3	4	1	1	0

内容：地域福祉に関する実践：25件（地域福祉活動へ訪問、活動者・参加者との交流・講話 等）

障がい等に関する実践：10件（障がい理解と共生社会、当事者との交流・講話、体験学習 等）

その他、グループワークへの助言、研修会での実践報告 等

※先生方の思いや考え方、学校での学習進度について確認しながらプログラムの提案ができるよう、依頼シートを修正しました。

・生活困窮者自立支援事業 ふじのみやフードサポートクリスマスイベント

開催日：令和7年12月20日（日）9:00～ 会場：総合福祉会館創作室

内 容：福祉教育ブースを設置し、参加者に福祉会館内の様々な人が利用しやすい・優しい工夫について紹介しました。

●世代を限定しない福祉教育の推進

地区社協や民児協の研修において、福祉に関する講話を実施しました。

大宮地区社協4回、富丘地区社協1回、西部第2地区民児協1回、富士根南地区社協1回、白糸地区社協1回

報告書の共有や地区担当者との会議を通じて、地域状況とニーズの把握に努めました。また、個別に福祉について話す機会を設けるなど、小規模な福祉教育を行いました。

●福祉教育に必要な備品の貸与

・車いす21台、アイマスク109枚、白杖110本、点字板180台、ボッチャ4台

高齢者疑似体験キット14セット、ゴールボール2個、ユニバーサルデザインかるたセット14セット

9. ボランティア活動事業 【サービス区分：ボランティア活動事業】

●個人・ボランティア団体への活動支援

ボランティア活動に関する相談対応および活動支援を行いました。

相談対応として活動見学や参加の機会、情報提供を実施しました。活動支援としては、助成金情報の提供、状況を把握した上で適切な助言を行いました。

・ボランティア相談 6件（前年7件）・ボランティア依頼 22件（前年13件）

・ボランティア活動保険加入数 50団体（前年61団体） 総加入者数1,506名（前年1,791名）

※事故対応8件（前年13件）

●ボランティアの周知

ホームページ更新、ボランティア掲示板設置、チラシの作成を行いました。

ホームページに福祉施設用の依頼手順を図式化して掲載、様式をデータ化し利便性の向上を図りました。

新たに、総合福祉会館1階の休憩スペースにボランティア掲示板を設置しました。

※掲示板には、隙間時間に取り組める「ちょこっとボランティア」「地域」「こども」「高齢者」の4つの活動募集情報を掲示しました。

活動募集チラシについては、介護保険事業者連絡協議会を通じて各事業所に周知しました。

●ボランティア講座の開催（令和7年度は中止）

●災害ボランティア本部の定期的な点検と充実

地域住民、協定締結団体と共に、災害ボランティア本部の立ち上げ訓練を実施しました。富士市社協と災害時における連携について話合いました。

<災害ボランティア本部立ち上げ訓練>

開催日：令和7年10月12日（日）9:00～12:00

- 内 容：①ボランティア本部立ち上げ訓練
 (自然災害発生時における災害ボランティア本部に関する協定締結団体及び協力団体参加)
 ②青木平区・浅間区でのニーズ調査
 ③日赤奉仕団による炊き出し訓練

10. 子育て支援センター事業(子育て支援センターたち)【サービス区分：子育て支援センター事業】

おおむね0歳から2歳児とその保護者に対し、安心安全なあそび場の提供、親子に寄り添う支援プログラムの実施、利用者同士の交流、情報共有できる場の提供を行いました。また、育児に対して不安感・孤独感を感じている保護者が気軽に相談できる場として、個々に寄り添い、必要に応じて関係機関と連携し、支援を行いました。

●子育て支援センターたち運営

開所日：火～土(9:00～11:45・13:00～15:15)※水曜日午後の部 0歳児利用日

状 況：開所日数：243日 延利用者数：4,545名(1日平均18.7名) 相談件数：763件

- ・講座の開催(延利用者：152名)

4月	手作りおもちゃ講座	10月	栄養講座
5月	健康講座	11月	健康講座
6月	ベビーマッサージ講座	12月	手作りおもちゃ講座
7月	歯科講座	1月	栄養講座
8月	ヨガ講座	2月	健康講座
9月	健康講座	3月	ヨガ講座

●関係機関との連携

- ・ふじさんシニアクラブ富士宮

季節の行事、紙芝居や絵本の読み聞かせ、手遊びや体操により触れ合い交流を行いました。

実施日：令和7年10月10日(金)(参加者:16名)

令和8年1月23日(金)(参加者:26名)

- ・富丘地区社会福祉協議会主催 あったか家族のつどい

季節の行事、わらべ歌、絵本の読み聞かせ、体操により触れ合い交流を行いました。

実施日：令和7年7月18日(金)(参加者:7名)

令和7年12月19日(金)(参加者:14名)

令和8年2月13日(金)(参加者:12名)

11. 参加支援事業(重層的支援体制整備事業)【サービス区分：地域福祉推進事業】

介護・障害・子ども・困窮等の既存制度では対応できない狭間のニーズに対して、多様な資源の開拓を行い、本人やその家族に対して伴走支援を行いながら、社会とのつながりづくりを進めました。

●参加支援事業

支援対象者：6名(内支援人数5名) 支援延べ件数：335回

- ・市社協内職ステーション(地域活動支援センターふらっと)へのマッチング2件
- ・お直しクラブへのマッチング1件

●他機関との連携

- ・地区社会福祉協議会、民生委員児童委員地区定例会、事業所、企業、通いの場などに訪問を行い、本事業の説明及び対象者の理解、切り出し仕事等受け入れ体制を構築できるよう投げかけました。

(通いの場6カ所、企業2社、事業所3社)

●既存の地域資源調査

- ・対象者が参加者として活動できそうな居場所を訪問し、関係者に本事業の理解及び受け入れ体制の構築を

行ないました。

(寄り合い処1件・認知症カフェ1件)

12. 地域づくり事業(重層的支援体制整備事業)【サービス区分：地域福祉推進事業】

生活困窮者等のための地域づくり事業として、以下のとおり取り組みました。

●こどもの居場所の把握とつながりづくり

- こどもの居場所交流会の開催 13団体20名が参加しました

令和7年12月16日(火) グループワーク：「つなぐ・増やす・みがく」

交流会：この交流会を通じ、他団体の活動の見学などや交流が始まりました。

- こどもの居場所マップ作り(不登校を経験した現役高校生が監修)

こどもの居場所の見える化に努めました。令和8年度に配布開始します

●内職ステーションの仕組みづくり

ひきこもり等の理由により長らく社会との接点がなく、すぐに就労支援を受けられない方に対し、生活リズムの調整や外出のきっかけづくりとして「地域活動支援センターふらっと」に設置しました。

令和7年度は2名の方が利用しました。

●地域課題の把握

- 生活困窮者自立支援事業対象者へのアンケート調査実施 対象30名
- 地域住民の困りごとの把握に努めました

13. 応急小口資金貸付事業【サービス区分：しあわせ支援事業】

生活困窮世帯に対し緊急かつ一時的に必要とする生活資金の貸付を行い、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に実施しました。

貸付件数：1件(50,000円)

償還件数：9件(171,000円)

14. 高額療養費貸付事業【サービス区分：しあわせ支援事業】

富士宮市の国民健康保険加入者で、限度額適用認定証の交付が受けられない方を対象に、一時的に支払うべき医療費の負担軽減を図ることで、不安の解消と生活の安定につなげました。

貸付件数：61件

貸付総額：11,180,843円

医療機関振込：11,180,843円

15. 生活福祉資金貸付事業【サービス区分：しあわせ支援事業】

静岡県社会福祉協議会が実施する本制度について、本会が窓口となり、低所得や障がい者、高齢者等の世帯に対し、経済的な自立や社会参加促進を図ることを目的に、各種貸付金の相談や、償還に向けたフォローアップ支援を実施しました。

貸付件数：12件 貸付総額：2,333,000円

内訳 緊急小口資金 7件：652,000円

教育支援資金(教育支援費・就学支度金) 5件：1,681,000円

【新型コロナウイルス特例貸付償還】

免除申請決定：延べ14件

猶予申請決定：延べ15件

返済月額減額申請：5件

返済月額増額申請：1件

16. 権利擁護事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

日常生活自立支援事業および法人後見事業を通じて、認知症高齢者や知的・精神障がい者など判断能力に不安のある方を支援しました。また、成年後見制度の利用促進に向け、制度の啓発や権利擁護人材の育成・活動支援に取り組みました。

●日常生活自立支援事業の実施(福祉サービス利用援助、日常的金銭管理)

新規相談件数 4件
契約締結件数 4件
終了件数 5件(成年後見制度移行1件・死亡1件・施設入所3件・親族援助1件)
実利用人数 67名(認知症高齢者10名・知的障がい者23名・精神障がい者20名・その他14名)
相談援助件数 2,082件(支援回数)
カード導入件数 3件(生活費管理のプリペイドカード利用者数)

●法人後見事業の充実(家庭裁判所の審判により法人として後見人等を受任)

- 法人受任件数 後見 17件・保佐 4件・補助 1件(内訳：新規受任3件、継続16件、終了3件)
監督人 11件(内訳：新規受任0件、継続10件、終了1件)
- 法人後見事業運営委員会の開催(事業運営の助言、新規事案の受任について適否を協議・回答)
委員：弁護士・司法書士・社会福祉士・行政職員 計4名に委員を委嘱
開催日：令和7年5月22日(木)・8月28日(木)・12月11日(木)・令和8年3月5日(木)
会場：富士宮市総合福祉会館 ミーティングルーム

●成年後見推進事業の充実(成年後見制度の利用促進・制度を担う人材の育成)

- 市民後見人等フォローアップ研修 3回実施(参加者延べ32名)
- 成年後見事業専門職勉強会 開催日：令和7年8月22日(金)参加者：60名
会場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室
- 成年後見制度普及啓発講演会 開催日：令和8年2月15日(日)参加者：147名
会場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール、第1会議室
- 市民後見人受任件数 11件(令和7年度移行件数：0件)

17. 結婚相談事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

毎月5回結婚相談所を開設し、民生委員児童委員協議会・更生保護女性会から選出された相談員が結婚に関する相談に対応しました。

結婚成立件数 : 3組(見合い実施件数：19件)
新規登録者数 : 14名
相談件数 : 415件(男性239件・女性176件)昨年度より31.5%減 ※交際中は現在4組

18. 遺児・交通遺児援護事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

交通事故で親を亡くした児童、その他の理由により両親を亡くした児童に対し、学資手当を支給することで児童の健全育成を図りました。

- 遺児：18歳未満で、両親を何らかの理由で亡くした児童への援護(対象者：なし)
- 交通遺児：18歳未満で、交通事故により親を亡くした児童に学資手当を支給しました。
(学資手当：小学生1名 中学生0名)

19. 生活困窮者自立支援事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

生活の悩みや経済的な困りごとについて、相談者と一緒に考え、課題を整理し、各支援機関との連携や、社会資源とのつながりを活用し支援を行いました。継続的な支援が必要な方にプランを作成し、経過等を確認

し、自立につながる支援を行いました。

●自立相談支援事業

新規相談件数： 114 件

支援プラン決定件数 113 件 (内支援プラン終結件数： 44 件)、モニタリング 61 件

自立相談支援事業支援延べ件数：2,159 件

・就労支援

就労支援対象者 19 名

就労支援員による企業訪問を行い、相談者に適した就労機会を創出しました。

就労後も寄り添い支援を行い、就労の継続につながりました。

●社会資源づくりの推進

・ふじのみやフードサポート事業

地域住民や企業・団体に向けて事業理解に努めました。協力者が増え、地域のサポート力を活かした食糧支援、食事提供を実施しました。

野菜は、JA ふじ伊豆富士宮地区本部、ベジタブルサポーターに協力いただきました。

寄 付 件 数：348 件

(米:128.9kg、食料:2766.6kg、野菜:2823.3kg、日用品:127.7kg、衣類その他:41.5kg、合計 6,888kg)

支援延べ件数：182 世帯 348 名

(米：467.4kg、食料：1138.8kg、野菜：2823.3kg、日用品・衣類：28kg、合計 4457.5 kg)

・生活困窮世帯へ食糧応援

令和7年8月16日(土) 子育て世帯 18 世帯 63 名

令和7年12月20日(土) 子育て世帯 27 世帯 (集合型25世帯、訪問型2世帯) 102 名

市内子ども食堂、にじっこ (子どもの学習・生活支援) への支援

(米：229kg、食料：972.4kg、日用品：52kg、合計 1253.4 kg)

●事業の周知

・事業理解を深めるための講演会

開催日：令和7年12月2日(日) 富士宮市総合福祉会館 第1・第2会議室

内 容：演題 「なぜ人はモノを溜めるのか」

講師 秋田看護福祉大学看護福祉学部看護学科 教授 下園 美保子 氏

参加者：71 名 (地域住民23名、関係機関48名)

・「ふじのみや生活応援基金」の活用

就労支度金：1 名利用

●アウトリーチ支援事業 (重層的支援体制整備事業)

・事業理解、周知が図れるようチラシを作成し、関係機関、団体、施設等へ配布及び設置し、初期相談へつなげることができました。

・「多機関協働事業プラン」を基に、ケースに適したプランを作成し、本人の意思を尊重した寄り添い支援に努めました。また、プラン作成に至っていないケースについても、定期的な訪問を行い、状況把握や関係性の構築に努めました。

・相談受付件数：91 件

・プラン作成件数：新規1件・再プラン4件

20. 共同募金配分金事業 【サービス区分：共同募金配分金事業】

富士宮市内で活動する福祉団体から助成希望の事業を公募し、以下のとおり活動を財政面から支援しました。また、低所得世帯支援のための援護活動を行いました。

●共同募金運動の実施

- ・静岡県共同募金会からの配分金（収入）

【共同募金】共同募金・歳末たすけあい募金剰余金からの配分金 6,265,975 円

【歳末たすけあい募金】令和7年度歳末たすけあい募金からの配分金 2,285,500 円

●助成事業

- ・赤い羽根共同募金助成事業の公募

市内の福祉関係団体等への助成について、富士宮市社会福祉協議会のホームページ及び地元新聞社を通じて公募しました。

共同募金配分金の使途

富士宮市社会福祉協議会事業(地区社会福祉協議会事業・結婚相談事業・移動支援事業・修学旅行費助成事業・進入学祝い金贈呈事業・災害見舞金贈呈事業)	5,561,975 円
高齢者福祉事業 (1 団体 1 事業)	21,000 円
障害福祉活動事業 (6 団体 9 事業)	160,000 円
住民全般事業 (4 団体 4 事業)	478,000 円
更生保護事業 (1 団体 1 事業)	45,000 円
支出合計	6,265,975 円

歳末たすけあい募金配分金の使途

生活困窮世帯援護活動事業(158 世帯 217 名)	1,607,800 円
施設入所児童援護活動事業(9 施設 18 名)	109,251 円
民生委員児童委員協議会、ふじさんシニアクラブ富士宮	400,000 円
支出合計	2,117,051 円

歳末たすけあい募金：収入合計 2,285,500 円－支出合計 2,117,051 円＝168,449 円

※168,449 円は静岡県共同募金会へ返還。令和8年度に再配分されます。

●配分委員会の開催

地域住民の代表で組織する配分委員会を開催し、共同募金及び歳末たすけあい募金の適正な配分が行われるよう、助成内容について審議しました。また、富士宮市社会福祉協議会富士宮市共同募金配分委員会規程の見直しを行いました。

- ・配分委員会

第1回 令和7年5月29日(木) 9:30～ 会場：富士宮市総合福祉会館 第1会議室

第2回 令和7年11月14日(火) 10:00～ 会場：富士宮市総合福祉会館 ミーティングルーム

●運営委員会の開催

地域住民の代表で組織する運営委員会を開催し、令和6年度の事業報告・事業決算の報告、令和7年度の事業計画・事業予算について協議しました。

- ・運営委員会

令和7年8月20日(水) 10:00～ 会場：富士宮市総合福祉会館 第1会議室

21. 居宅介護支援事業 【サービス区分：居宅介護支援事業】

要介護者が住み慣れた地域で生活できるよう利用者の自己決定を尊重し自立支援を基本とした支援を行いました

- ・個別避難計画の作成(実績1件) 要介護・要支援認定調査(3件)
- ・アセスメントの強化、適切な居宅介護計画書の作成を実施するため主任介護支援専門員グループスーパービジョン研修年3回、ケアマネジメント検討会1回参加
主任介護支援専門員更新研修を受講し質の向上に努めました
- ・市民からの介護の相談対応を行い地域包括支援センターや関係機関との連携(15件)
要支援、要介護者が必要なサービスを受けられるよう、ケースの受け入れを積極的に行いました。

【令和7年度延利用者数 ※()は前年度】

要支援1・2:148件(107件) 要介護1・2:176件(194件) 要介護3・4・5:131件(149件)

2.2. 訪問介護事業 【サービス区分:訪問介護事業】

訪問介護員の増員もあり、訪問回数は前年より167件増加しました。要支援者からの依頼増加と、介護5の利用者も昨年より2名増え、身体介護を中心に支援を行いました。

【令和7年度利用者数 ※()は前年度】

要支援1:3名(5名) 要支援2:15名(9名)

要介護1:9名(9名) 要介護2:6名(7名) 要介護3:3名(4名)

要介護4:1名(1名) 要介護5:3名(1名)

延べ利用数 2,889件(2,722件)

- ・スマートフォンを活用し、訪問介護員からの情報を適時受信のうえ、相談支援専門員等へ迅速に伝達・共有し、多職種連携の強化を図りました。
- ・外部講師による実技指導研修を開催しスキルアップを図りました。
- ・訪問介護員の定着の為、処遇改善手当による賃金のベースアップを行ないました。

2.3. 地域活動支援センターバンブー 【サービス区分:地域活動支援センターバンブー事業】

【令和7年度利用者数 ※()は前年度】

事業実施日数 : 242日 (242日)

延べ利用人数 :1,528名・1日平均:6.3名(1,279名・1日平均:5.3名)

●地域との交流や社会との連携

- ・JAふじ伊豆女性部会富士宮地区本部芝川支部主催
 - うどん作り講習会(令和7年7月16日 参加者:3名)
 - そば作り講習会(令和7年11月16日 参加者:7名、保護者4名)
- ・芝川公民館活動「くれないどるの会(一般教養講座)」への参加
 - 「防災講座」(令和7年5月16日 参加者:3名、保護者2名)
 - 「食品の表示を学ぼう」(令和7年6月6日 参加者:2名、保護者1名)
 - 「懐かしのメロディー」(令和7年7月4日 参加者:3名)
 - 「紙芝居の読み聞かせ」(令和7年10月3日 参加者:3名、保護者1名)
 - 「歌声コンサート」(令和7年11月7日 参加者:4名)

☑保護者の参加により、親子で協力する姿勢や家庭での共通の話題作りとなりました。
- ・芝富小学校児童との交流
 - 令和7年12月3日 芝富小4年生14名来所(ゲームや体操、一緒に協力し合っの七夕飾り作り)
 - 令和7年12月10日 芝富小支援学級児童6名来所

☑バンブーの内職作業体験等様々な交流を通しての相互理解 ※これを機に毎年継続の予定
- ・芝川花そう会と一緒に季節の花のポット苗を作り、道路沿いの花壇に定植
 - 令和7年6月18日 「羽鮒坂本地内」参加者:3名
 - 令和7年11月12日 「羽鮒坂本地内」参加者:3名
- ・地域寄り合い処参加
 - 令和7年10月1日 「西山公民館」参加者:3名
 - 令和7年11月20日 「尾崎公民館」参加者:4名
 - 令和7年12月19日 「朧島公民館」参加者:6名
- ・体力向上や気分転換に繋げるため里山散策や富士川の河原遊びを実施
(内職作業量、天気や気温の状況により適宜実施しました。)

- ・社会体験

令和8年2月5日「衆議院議員選挙の期日前投票」参加者:5

●創作活動の推進

- ・手ごろな創作活動(趣味等)の機会を提供するため、ボランティアによる「折り紙教室」を月に一回開催。職員も適時利用者に提供できるように折紙や毛糸・端切れを使った手芸作品を研究しています。その研究成果を活かすため、一般市民を対象にバンブーPRを兼ねて令和7年7月22日「折り紙教室」を実施しました。申し込み者4名の内1名がその後バンブー利用に繋がりました。

●生産活動の推進

- ・生産活動を希望する利用者が少なくないため、障害の程度に応じ作業に従事できるよう作業種別に配慮し、困難な場合は一部工程を職員が支援するなどして下請け作業を実施するとともに納期も厳守しました。このため事業者からの信頼も厚く経常的に仕事の依頼がありました

2.4. 地域活動支援センターふらっと 【サービス区分：地域活動支援センターふらっと事業】

障がいのある人たちの日中の居場所としての役割を果たすと共に、日常的な相談に応じ、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

【令和7年度利用者数 ※()は前年度】

事業実施日数： 243日 (243日)

延べ利用人数： 4,017名・1日平均：16.3名 (4,253名・1日平均：16.5名)

●居場所機能の充実

利用者からの意見や提案による企画を検討、実施しました。

- ・利用者同士のコミュニケーションを図りました。
 - 第1回 令和7年10月18日(土)(参加：9名)宮バス利用し、お宮横丁・お参り
 - 第2回 令和7年12月19日(土)(参加：15名)クリスマス会
- ・利用者サークル(名称「ふらおり部」)
 - ※利用者同士で折り紙交流をしました。
- ・ゆうゆう、ふらっと合同卓球大会 令和7年8月23日(土)(参加：30名)
- ・富士市・富士宮市地域活動センター合同イベント「わたしのはなしをききたいひとあつまれ」
令和8年2月20日(金)参加：86名 発表者10名(内ふらっと利用者1名)
- ・ペタボード 毎月1回 なごみの会ボランティア
- ・絵手紙講座 毎月1回 講師：渡辺 ミチ 氏
- ・折り紙講座 毎月1回 講師：なごみの会 村松 真由美 氏

●保健・医療・福祉及び地域の社会基盤との連携

- ・広報紙の内容を見直し、市内外各医療機関8カ所にも配布しました。
- ・特別支援学校にふらっとの紹介・説明を行い、地域寄り合い処にも広報紙を配布しました。
- ・毎日、午前、午後に総合福祉会館周辺のゴミ拾い・ウォーキングを実施しました。
- ・毎週水曜日、土曜日の午後に総合福祉会館 安藤記念ホール無料開放を利用し、ボランティアと卓球での交流を行いました。
- ・重層的支援体制整備事業利用者について就労体験(内職ステーション)を実施しました。
(令和7年12月～令和8年3月：2名利用)

●普及啓発活動の充実

- ・公開講座の開催
 - (1)「交通を学びませんか？」
 - 講師：富士宮警察署 交通課交通安全指導員係 近藤 健太 氏
 - 開催日：令和7年7月23日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 ふらっとルーム

参加者：10名(内ふらっと利用者7名)

(2)「宮バス・宮タクについて」

講師：富士宮市役所 市民生活課交通対策室 神尾 正之氏

開催日：令和7年8月14日(木) 会場：富士宮市総合福祉会館 ふらっとルーム

参加者：16名(内ふらっと利用者12名)

(3)「基礎的な精神疾患の理解」

講師：鷹岡病院 精神保健福祉士 山口 雅弘氏

開催日：令和7年12月5日(金) 会場：富士宮市総合福祉会館 第1.2会議室

参加者：16名(内ふらっと利用者6名)

(4)「みんなで食べよう ちらし寿司」

講師：栄養士・料理教室講師 伊藤 須美子氏

開催日：令和8年3月14日(土) 会場：富士宮市総合福祉会館 調理実習室

参加者：15名(内ふらっと利用者10名)

・地域活動支援センター作品展の開催

開催日：令和7年8月1日～8月30日 会場：富士宮市総合福祉会館 ふれあいロビー

・富士宮市主催福祉作品展への出展

開催日：令和7年12月3日～12月9日 会場：富士宮市役所

●ピア活動の推進

・ピアカウンセリング体験の実施

第1回 「体調について」

令和7年5月21日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加数2名

第2回 「熱中症対策・睡眠について」

令和7年8月20日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加数4名

第3回 「生きづらさについて・悪夢について」

令和7年11月20日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加数6名

第4回 「ゲームについて・食事について」

令和8年2月18日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加者3名

・利用者の主体性を高めるため、隔月で利用者ミーティングを開催しました。

令和7年5月10日(土)、7月5日(土)、9月6日(土)、11月8日(土)

令和8年1月10日(土)、3月7日(土)

25. 指定相談事業 【サービス区分：指定相談事業】

特定相談支援事業

- ・モニタリング頻度を6ヶ月から適宜3～4ヶ月に変更し、年間19件増やしました。モニタリング訪問が増えることにより、自ら発信することに苦しさや困難さがある利用者の細かな変化に対応でき、家族の不安軽減にもつなげることができました。
- ・機能強化型相談支援事業の事例検討等(年間24回)や、会議に毎月2回参加。市内の特定支援事業所と連携し、新規事業所の情報共有や、新しい障害福祉サービスの内容と活用状況について確認しました。
- ・基幹相談や委託相談に適宜スーパービジョンを受け、客観的・専門的アドバイスをもらい、気づきを支援に生かすことができました。
- ・指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業 プラン作成 726件(前年度:712件)

委託相談支援事業

- ・事業所内研修に市内の特定相談事業所を交えて事例検討を4回、ファシリテーション研修を3回実施。事例ケースに応じて、臨床心理士などの専門職や困窮・高齢者分野の支援者にも参加いただきました。

- ・市内の特定相談支援事業所やフリースクール、親子はったつ教室へ訪問し、障害児童の生活や支援に関する困りごとを収集し、地域自立支援協議会事務局会議に地域課題として2回提出しました。
- ・一般相談、専門相談事業 ※()は前年度

年間実利用人数	367名	(275名)
内大人	261名	(184名)
内児童	106名	(91名)
延べ相談件数	4,187件	(4,069件)
個別ケア会議開催件数	65件	(55件)

26. 基幹相談支援センター 【サービス区分：基幹相談支援センター事業】

障がい相談支援の拠点として、以下のとおり取り組みました。

- 総合的専門的相談の実施
 - ・実人数131名、延べ658件の対応を行いました。
 - ・委託相談支援事業所へ週1回の打ち合わせに同席しました。
 - ・重層的支援会議へ延べ17件同席、ケース会議へ延べ17件出席し、関係機関とケースの見立ての共有を行いました。
- 相談支援体制の強化
 - ・月1回の相談支援部会情報共有会の実施をし、「相談員のしゃべり場」において相談員の困り感の共有やスキルアップを目的に行いました。
 - ・圏域又は地域自立支援協議会の専門部会運営等に延べ156件の会議や連絡調整を行いました。
- 地域移行定着の推進
 - ・精神科病院相談員とのネットワーク会議を年2回開催しました。
 - ①令和7年9月18日、「入退院を繰り返す方へ医療と福祉で連携しあおう」をテーマに保健所浅野氏より役割理解を深めました。
 - ②令和8年3月25日、「ひとり暮らし体験プロジェクトの報告」を行いました。
 - ・富士心身リハビリ病院と南富士病院の2カ所の精神科病院へヒアリング訪問を行い、病院の現状と受け皿としての地域の課題等について共通理解を深めました。
- 権利擁護・虐待防止
 - ・権利擁護研修の企画を地域自立支援協議会の研修として実施。
 - ・支援困難ケース会議への出席、虐待通報へのコア会議への参加等、相談支援専門員や関係機関への後方支援を実施しました。

27. 障害者居宅介護事業 【サービス区分：障害者居宅介護事業】

入院中の様子・退院後の支援方法を確認する為のケア会議に参加し、情報共有・他職種連携を図りました。移動支援利用者4名から6名となり、訪問回数が増加しました。

令和7年度利用者数 ※()は前年度

居宅介護事業：23名(23名) 延べ利用数：1,709件(1,647件)

移動支援事業：6名(4名) 延べ利用数：287件(205件)

- ・スマートフォンを活用し、訪問介護員からの情報を適時受信のうえ、相談支援専門員等へ迅速に伝達・共有し、多職種連携の強化を図りました。
- ・外部講師による実技指導研修を開催しスキルアップを図りました。
- ・訪問介護員の定着の為、処遇改善手当による賃金のベースアップを行ないました。

28. 障害者同行援護事業 【サービス区分：障害者同行援護事業】

- ・利用者の希望に応じ、定期的な同行に加え、土日や市外での依頼にも対応しました。
新規定期利用者獲得により、訪問回数が増加しました。
令和7年度利用者数 ※()は前年度
利用者数:21名(19名) 延べ利用数:1,259件(1,190件)
- ・スマートフォンを活用し、訪問介護員からの情報を適時受信のうえ、相談支援専門員等へ迅速に伝達・共有し、多職種連携の強化を図りました。
- ・外部講師による実技指導研修を開催しスキルアップを図りました。
- ・訪問介護員の定着の為、処遇改善手当による賃金のベースアップを行ないました。

29. 総合福祉会館 【サービス区分：福祉会館管理経営事業】

- 総合福祉会館運営
令和7年度 延べ利用者数：93,367名（前年度96,422名）
開館日数：293日
子育て世代、高齢者、障がい者及び各利用者・団体にとって、健康増進、教養の向上、社会参加の機会の創出、地域福祉理解が得られる会館運営を行いました。
- 総合福祉会館管理
利用者が安心、安全に利用できる環境をつくるため、マニュアル作成や注意を呼び掛ける掲示物の作成を行いました。（長寿命化工事にも対応）
故障箇所に対しては迅速に修繕対応を行いました。
- 自主事業の実施
スマートフォン講座（全4回）×2講座 参加者 13名
パン作り教室（全1回）×4講座 参加者 47名
健康体操教室（全10回）×3講座 参加者 188名
書道教室（全2回）×1講座 参加者 8名
- 経費の削減
節電や裏紙利用等、資源の有効活動を積極的に取り組みました。
- 会館のPR
Instagramの投稿を76件行い、身近で新しい情報を発信することで、富士宮市総合福祉会館に興味を持つ機会を増やしました。